

日本リユースシステム/廃棄物処理

ワンストップで回収

法人引越事業者むけ

日本リユースシステム(山田正人社長、東京都港区)は4月から、法人の引越しを手掛ける事業者向けに、廃棄物処理をワンス

トップで行うサービスの提供を始めた。引越事業者が顧客から引き取った未分別の廃棄物を同社が回収・分別・再資源化するもの。リ

サイクルサービスで付加価値アップを目指す引越事業者のニーズを見込んでい

る。オフィス移転などの際に発生した不用品の引き取りはサービス向上につながるもの、分別の手間と廃棄コストが引越事業者の大きな負担となっている。同サービスを利用すれば、引越

事業者は廃棄物を分別しない状態で排出できる。廃棄物は同社と提携する中間処理施設で徹底した分別の上、再生資源原料として商品化されるため、通常の廃棄方法よりもコストを抑えられ、環境保全にもつながる。

取り扱う品目は廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、ガラスなど廃棄物全般。

さらに、廃棄物として回収・処理できないテレビ、冷蔵庫、エアコンといった家電リサイクル法対象品目についても「家電回収サービス」として、併せて無料回収する。

回収方法は、同社が引越現場で引き取ったり、指定のコンテナ、ロールボックスに入れるなど複数の方法から選べる。

引越業界では値引き競争が激化しているが、廃棄物がワンストップ回収サービスを利用することで、引越事業者は利益を減らすことなく、廃棄コスト削減により価格競争に対応が可能。また、家電回収サービスを行

(吉田 英行)

うことで引越しの受注率を高める効果もある。

現在のサービス対象地域は関東1都3県だが、今後、関東地方全域に広げる方針。

山田社長は「引越事業者がリサイクル事業者と手を組むことで、面白い引越プランがとれる。引越しにリサイクルを取り入れて、受注率向上と値引き競争からの脱却を実現してほしい」と話しており、差別化を図る事業者との提携に意欲をみせる。